

事業所における自己評価結果 (公表)

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				利用定員に対して適切なスペースではありますが、スペースに合わせて安全に活動するようにしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	5				安定した支援ができるように専門性を高める研修を継続します。職員数は、状況を見ながら対応するよう心掛けます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5				平面移動ができるように、段差のない環境を整備しています。車いす用トイレも設置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		1		業務改善が進むよう、支援方法や1日の反省等を職員同士で共有できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1		保護者対応等でも、意見を伺う機会を設けています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			今後実施予定です。	今後実施していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	現在、第三者委員はいません。今後実施予定です。	第三者評価(業者等)は実施していません。今後実施予定です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		1	つみきの会の講師によるWebコンサルや訪問コンサル等を実施しています。	つみきの会の講師や静岡県発達障害者支援センター「きらり」等の担当者との連携を密にし、研修に活かしていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5				児童の変化が見られた時など、必要に応じてアセスメントを行っていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		1	つみきの会の療育プログラムに沿ってプログラムを作成しています。	個々の課題に合わせて、つみきの会プログラムを取り入れ、臨機応変に対応しています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				ガイドラインの各項目や支援内容を基として、その時期に重点化したい項目や内容を優先順位をつけて行っています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5				日々の活動案の中に個別支援計画目標を明記し、目標に関連付けた支援等を行っています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				個別支援検討会議を実施し、職員の意見を反映しています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				発達段階に応じたプログラムを用意し、児童の状況に応じた教材を工夫して行っています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	1			現在、1対1の個別活動を行っていますが、今後子どもの状況に応じて、1対2等の小集団の活動も検討していきたいと思っています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				支援内容や課題、支援の手順等については、事前に確認したり、必要に応じて修正したりしています。今後も継続していきます。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				終礼を行い、その日の情報を共有し、出勤していない職員にも共有できるように記録を残すようにしています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				日々、ケース記録を記入し、検証、改善に努めています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5				定期的に実施しています。
		⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
㉑		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		1		子供を取り巻く関係機関との連携は大切であり、今後は連携を、より密にしていきたいと思っています。
㉒		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			3	現在、対象児がいません。	現在直接的に医療ケアを必要とする児童は在籍していませんが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合には各関係機関と連携して支援を行っていきます。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			3	現在、対象児がいません。	現在、医療ケアを必要とする児童は在籍していませんが、医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合には各関係機関と連携して支援を行っています。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		1		相談支援事業所などを通じて情報提供や共有は行っています。また、必要に応じ各機関との情報共有と相互理解に努めたいと思います。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		1		必要に応じて各機関との情報共有と相互理解に努めたいと思います。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1		各センターから情報を得たり、オンデマンド研修を受講しております。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	2		今後の課題として検討していきます。	
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	2		そのような機会があれば参加していきます。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				日々の活動時やラインなどで、できるだけ具体的に伝え合い、共有するようにしています。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	2	1	2		定期面談は6か月に1回行い、その都度、相談や助言をさせていただいております。今後、家族支援プログラムも計画し、実施できるよう努力していきます。	
	保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		1		契約の時に、分かりやすく丁寧に説明しています。質問が出た時は、その都度対応していきます。
		㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		1		できるだけ分かりやすい言葉で説明し、同意を得るようにしています。
㉚		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				日々の活動時等で行っていますが、寄り添う姿勢をもちながら、タイムリーに相談や助言、支援を行っています。	
㉛		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			つみ木の会の講師などを招いた保護者会を実施しています。	つみ木の会の講師などを招いた保護者会を実施しました。今後は、事業者内での小規模な保護者会も実施していきたいと思っています。	
㉜		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				日々の活動時やラインなどで、できるだけ迅速に対応できるようにしていきます。	
㉝		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	今後実施予定です。	その都度、公式ラインツールを使用し、発信しています。	
㉞		個人情報の取扱いに十分注意しているか	5				個人情報の取扱いについて、具体的に留意する点について話し合う機会を継続していきます。	
㉟		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				子どもや保護者の状況をできるだけ正確に把握するようにし、寄り添う姿勢を大切にしながら行っています。	
㊱		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2		事業所が地域の中にあるという認識を深め、可能なことから行っていきたいと思っています。	
非常時等の対応		㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5				各マニュアルを策定し、職員同士話し合う機会を設けています。保護者向けには、さらに分かりやすく説明をしていきたいと思っています。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	5				火災と地震について年2回、活動内で避難訓練を行っています。保護者と連携した訓練を実施していきます。	
	㊴	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5				フェイスシートにててんかん等の有無を記載していただき、共有しています。	
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	1	現在、対象児がいません。	食事を提供していないため該当しません。	
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				タイムリーにヒヤリハット事例を共有し、原因と改善点について検討しています。他施設での事例も参考にしています。	
	㊷	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		1		虐待防止の研修を行い、日々の活動の中で起こりやすい具体的な事例を基に研修を継続していきます。	
㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5				職員会議等で「やむを得ず行う身体拘束」についての知識を共有し、より良い方法を検討します。個別支援計画に明記し、保護者に対して分かりやすい説明をしています。		

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。